

平成24年度福岡県公共図書館等協議会「資料収集・保存委員会」報告

1 設置目的

近年の図書館に対する住民の高度化・多様化する要求にこたえるためには、肥大化・多様化した図書館資料を各図書館が効率的に収集・保存するとともに、県内公共図書館が連携しながら収集・保存・提供していく必要がある。そこで、これからの図書館資料の収集・保存の在り方やその実施方法についての調査研究を行う。

2 本年度の調査研究事項

分担収集及び分担保存を推進していくため、福岡県公共図書館等雑誌新聞総合目録の更新、雑誌・新聞分担保存体制について調査研究を行う。

3 委員会の実施状況

(1) 第1回委員会（平成24年7月12日）

①「福岡県公共図書館等雑誌新聞総合目録」について

ア) 県内各公共図書館（室）のご協力により平成23年12月27日より県立図書館HP上に公開を開始した同目録について、各図書館（室）に向け実施したアンケートの集計結果を報告した。

イ) 今後の同目録の更新等に伴う業務予定についての連絡および次期「福岡県立図書館情報提供システム」移行時の改善案について報告した。

②雑誌・新聞分担保存体制について協議した。目録更新に伴い、例年通り「雑誌・新聞分担保存に関するアンケート」を実施し、第2回委員会において報告することとした。

(2) 第2回委員会（平成24年12月6日）

①「福岡県公共図書館等雑誌新聞総合目録」の更新時に検索結果項目の追加を行うことを報告した。

更新時（12月末）において、福岡県立図書館のみ刊行停止・所蔵終了分雑誌をデータ登録することを報告した。

②前年度より懸案の1「産経新聞」保存館については県立図書館、2「読売新聞（筑豊版）」については嘉麻市立嘉穂図書館が継続保存館となることを諮り承認を受けた。

③8月実施の「雑誌・新聞保存に関するアンケート」の回答結果により4館に新規分担保存を依頼することを諮り承認を受けた。

④新聞の分担保存に関連する、「新聞の商用DBの導入および視聴覚資料（マイクロ・DVD等）の所蔵に関する調査」アンケートの実施について説明し、調査することとした。

(3) 第3回委員会（平成25年2月14日）

①「福岡県公共図書館等雑誌新聞総合目録」の更新実施について報告した。

②読売新聞（筑後版）の保存館の調整について検討し、来年度継続審議となることを説明した。

③「新聞の商用DBの導入および視聴覚資料（マイクロ・DVD等）の所蔵に関する調査」アンケートの結果報告を行い、来年度さらに詳細に調査し、総合的な新聞の分担について研究することを確認した。

※第3回理事会（平成25年3月15日）

新聞2紙保存館変更の2館と雑誌新規保存依頼の4館について報告。

4 今後の予定

平成25年度理事会・総会

新聞2紙保存館変更の2館と雑誌新規保存依頼の4館について報告。

- 新聞・変更 1 「読売新聞筑豊版」川崎町立→嘉麻市立嘉穂
2 「産経新聞」筑紫野市民→県立
- 雑誌・新規 1 「Newton」宇美町立
2 「住まいの提案 福岡」宮若市立
3 「月刊保育とかきゅう」嘉麻市立嘉穂
4 「現代の図書館」 5 「こどもとしょかん」 6 「短歌」 7 「図書館雑誌」
8 「俳句」 9 「ひろば北九州」 10 「西日本文化」行橋市立